

1年生職業講話

2月6日(金)5・6時間目、10職種13名の方を講師に招き、本校の進路学習(キャリア教育)の一環として、1年生職業講話を実施しました。

一般的に「進路」というと、卒業期の進路選択ととらえがちです。社会においても、勤労や職業に対する理解の不足や安易な考え方など、社会的・職業的自立の未熟さが指摘されています。このような課題を踏まえ、様々な社会的役割や職業及び職業生活について理解させ、人は何のために働くのか、なぜ働かなくてはならないのかを考えさせる必要があります。さらに将来、社会人、職業人として自立し、生きがいのある人生を築こうとする意欲や態度の育成が求められています。

講師の方々からは、仕事の内容、仕事に就くために必要な資格や試験、働く意義や生きがい、苦労話、今にやっておくべきことなど、これまでの経験や仕事を通して学んだことについて教えていただきました。子どもたちは、自分が希望する職種を2つ選び、「働くこと」について理解するとともに、社会人としてどうあるべきか、ということを学べた時間になったと思います。



サッカー 勝矢寿延さん
セレッソ大阪 元日本代表



ダンス BEZI(側垣寛)さん
2014 JAPAN DANCE DELIGHT 優勝



弁護士 松木俊明さん
アーカス総合法律事務所



新聞記者 松山兼治さん
週刊大阪日日新聞社



グラフィックデザイナー濱邊彰吾さん
ミッションビジュアルアーキテクト



自衛官 井原真史さん
自衛隊大阪地方協力本部中央地区隊



看護師 作田誠一さん
愛染橋病院



営業職 小南和也さん
菅公学生服株式会社大阪営業所



税務署 田又和哉さん・小西美子さん
城東税務署

※ 鶴見警察署地域課の警察官にも講師で来ていただきましたが、仕事の関係上、名前・写真は紹介できません。

【生徒の皆さんへ】

先日はありがとうございました。皆様の貴重な時間をいただき、会話できたことをとても嬉しく感じました。「沢山の情報があると選択肢が増え、可能性が広がる。だから、より良い生活を送ることができる」みたいな事を、伝えたいつもりです。

最後にひとつだけこの場を借りて付け加えるのならば、最後に「行動」してください。情報は、あくまでも情報。それを活かすも殺すも、皆さん次第です。すこしでも興味があるのなら、直接触れてみてください。どうしていいのかわからなくなったときは、大人に相談しましょう。そのために大人は存在しています。役に立たない大人がいたなら、その人はまだ子どもです。一緒に遊んであげてください。

僕は鶴見区にすることが多いので、街で見かけたら「まっちゃん」と気軽に声をかけてください。ではまた会える日を楽しみにしております。

【保護者の皆さんへ】

横堤中学の保護者の皆様、はじめまして週刊大阪日日新聞の松山と申します。地域の無料新聞としてご存知の方もいるかと思えます。今回、1年生を対象にした特別授業に参加しました。「世の中にはこんなお仕事があるんだよ」と、あらゆる職業の人が実際に学校に足を運び生徒とコミュニケーションを取るといった内容です。

この企画授業は本当に素晴らしい。横堤中学に通う子どもはラッキーです。子どもにとって社会の人と直接かかわる機会はあるようで、実は皆無です。子どもたちにも新鮮だったようで、食い入るように話を聞いてくれました。

僕自身も息子がいますが、子どもの進路に関しては悩みます。将来どんな仕事に向いているのかな、親として何がしてやれるだろう、と悩んだ結果、何もしないことが多いです(涙)。家庭内で「就職までを考慮した、進路を模索する」作業は難しいです。なんとなく高校、大学に進学するケースのほうが多いのが実情です。理想を言えば、目標を持って進路を選んで欲しいですね。今回のような授業が増えると「将来〇〇になりたいから、高校で勉強して、大学行って〇〇勉強すんねん」と、言い出す子が増える。そういった授業でした。

仕事柄、様々な地域を取材しますが、鶴見の子はピュアです。各教育機関の先生方も口を揃えて同じ表現をします。目標さえ持てば伸びる子ばかり。今回授業を終えて、目標を見出せる環境を作るのが、「親としてできること」のひとつだと、僕自身教えてもらいました。

ハインリッヒの法則 小さなミスを見逃すな!!

1929年、アメリカの損害賠償保険のハーバート・ウィリアム・ハインリッヒという人が発表した「1:29:300」の法則です。1つの大きな事故が発生する前には、必ず29の小さな事故が起こっていて、その29の小さな事故が起こる前には、必ずハッとするような300もの失敗が起こっていることを、事故や災害の調査から導き出しました。

つまり、大きな事故は突然やってくるのではなく、その前触れが必ずあるということです。言い換えれば、小さな事故が起きた時に同じような失敗を繰り返さないようにし、ハッとすることがあった時に「これくらい大丈夫」と思わないで、自分の行動に注意を払うようにすれば、大きな事故や失敗を未然に防ぐことができるということです。

これは、学習についてもあてはまります。授業の中の一つ一つの小さなつまづきが、知らず知らずに大きくなり、「授業がわからない」という結果になっていませんか。

「横堤中学校生徒10か条」の1番目は『授業を大切にする』です。毎日の授業、そして家庭での復習を大切に、中学生として今やるべきこと・学習にしっかり取り組んでください。1・2年生も、学年の締めくくり「学年末テスト」まで、あと9日です。